

養父市関宮が生んだ偉大な作家

山田風太郎記念館

FUTAROU YAMADA MUSEUM

僕は小説を書くために生まれてきたようなものだ。

関宮が生んだ偉大な作家

山田風太郎

人生最大事たる死は、

大半突然やってくる。

僕の好きな最後の言葉は、

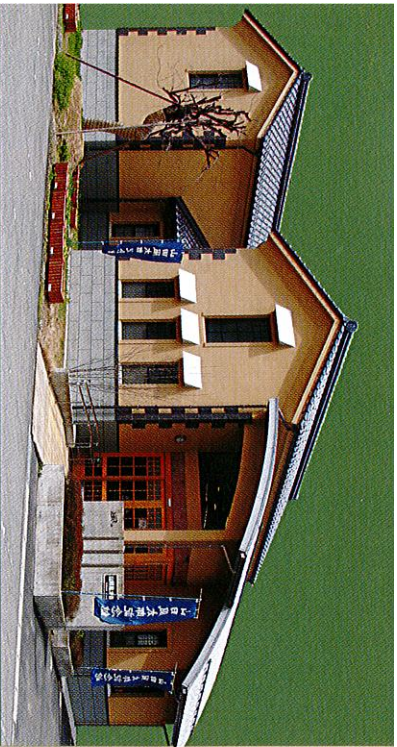
勝海舟の「コレデオシマイ」。

お金は必要なものだけれど、

毎日の用がとまれば、それでいい。



関宮の生家近くで



山田風太郎記念館

FUTAROU YAMADA MUSEUM



初版本の数々



風よ伝えよ 幼き日の歌
母校(旧開宮小学校)の百周年記念に
風太郎が脚本をよせた石碑

作家 山田風太郎は大正11年、兵庫県養父郡関宮村(現 養父市関宮)の医家に生まれました。早くに両親を亡くし、20才で上京、戦後東京医科大学在学中に推理小説でデビューしました。昭和30年代に「忍法帖シリーズ」で一躍人気作家となり、その後も戦中戦後の「日記」、「明治ものシリーズ」、「人間臨終図巻」などのノンフィクション、「あと千回の晩飯」などのエッセイ等々、幅広いジャンルで独自の文学世界を築きました。平成13年に亡くなった後も、作品が次々と再刊され、「魔界転生」や「甲賀忍法帖」など、映画、テレビ、舞台、マンガなどで、今なお多くのファンを魅きつけています。

山田風太郎記念館は、平成15年春、作家の故郷・関宮の地にオープンしました。館内では書斎の一隅を再現、写真、原稿、初版本、愛用品等、数々の資料を展示しています。近くに現存する生家をはじめ、関神社、老舗の造り酒屋など周辺は格好の散策コースにもなっています。

また、スキー、登山で有名なハチ高原・氷ノ山にも近く、湯村・山陰海岸へ向かう国道9号線に面した便利な地です。ぜひお立ち寄り下さい。



ご利用案内

- 開館時間
午前9:00~午後5:00(入館は4:30まで)
- 休館日
・毎週月曜日(祝祭日を除く)
・月曜日かつ祝日の場合は祝日の翌日
・年末年始
・陈列替え期間

■入館料
・常設展

区分	個人	団体
大人(高校生以上)	200円	150円
小・中学生	100円	80円

*団体は20名以上
※特別展は別に定めます。

- 駐車場
・記念館前(普通車30台)
・大型)又は、関宮地域高横駐車場
- ※このチラシ1枚で2名様まで50円割引致します。
(他のサービスとの併用はできません)

養父市立 山田風太郎記念館

〒667-1105 兵庫県養父市関宮605-1
TEL・FAX.079-663-5522
ホームページ <http://www.futareai-net/tv/kazetarou/>



養父市関宮が生んだ偉大な作家